

資料編

年月日	種別(名称)	豊橋市の被害概要
明 31. 6. 5	暴風雨	三河湾方面被害甚大 豊川氾濫
〃 31. 9. 6	〃	東三河地方被害甚大 豊川破堤
大 15. 9. 4	〃	全市に被害大 津田小学校倒壊 児童死亡 19 重軽傷者 153
昭 16.11.28	竜巻	死亡 12 家屋倒壊 44
〃 28. 9. 25	暴風雨(台風第 13 号)	高潮被害沿岸部に甚大(三河湾海岸破堤)
〃 34. 9. 26	暴風雨・高潮 (伊勢湾台風)	死傷者 130 家屋倒壊 2,135 床上浸水 157 床下浸水 288
〃 37. 7. 2	集中豪雨	死者 1 家屋損壊 4 床下浸水 556
〃 41.10.12	界雷豪雨	死者、行方不明 9 家屋損壊 13 床下浸水 1,940
〃 44. 6. 3	長雨	農畜物の被害甚大
〃 44. 7. 5	(連続雨量 449.3mm)	
〃 44. 8. 4	台風第 7 号	重傷者 1 床上浸水 87 床下浸水 311
〃 44. 8. 22	台風第 9 号	床下浸水 7
〃 44.12. 7	竜巻	死傷者 70 家屋の被害 124
〃 45. 6. 26	大雨	床上浸水 3 床下浸水 41
〃 45. 8. 18	〃	床上浸水 48 床下浸水 1,046
〃 46. 8. 30	台風第 23 号	家屋半壊 3 床上浸水 86 床下浸水 1,790
〃 47. 9. 9	大雨	床上浸水 3 床下浸水 244
〃 47. 9. 16	台風第 20 号	家屋全壊 2 家屋半壊 18 床上浸水 136 床下浸水 1,650
〃 49. 7. 7	集中豪雨	死者 1 家屋半壊 24 床上浸水 832 床下浸水 4,450
〃 51. 9. 8~13	台風第 17 号	家屋損壊 3 床下浸水 26 堤防破壊 3 道路崩壊 1
〃 52. 5. 15	大雨	床下浸水 75
〃 52. 7. 27~28	〃	床上浸水 20 床下浸水 330
〃 54.10.18~19	台風第 20 号	床上浸水 4 床下浸水 62
〃 55. 9. 8	大雨	床上浸水 2 床下浸水 20
〃 56. 8. 22~23	台風第 15 号	床上浸水 1 床下浸水 24
〃 57. 8. 3	大雨	床上浸水 67 床下浸水 455
〃 57. 9. 11~12	台風第 18 号	死者 1 床上浸水 2 床下浸水 53 がけ崩れ 7
〃 58. 8. 16~17	台風第 5 号	家屋全壊 1 家屋損壊 1 床上浸水 31 床下浸水 277
平 2. 9. 30	台風第 20 号	床上浸水 31 床下浸水 203
〃 2.11.30	台風第 28 号	トラック横転 2
〃 3. 9. 19	台風第 18 号	床上浸水 1 床下浸水 9
〃 4. 9. 29	大雨	床上浸水 1 床下浸水 9
〃 5. 9. 8	台風第 14 号	床上浸水 1 床下浸水 18
〃 6. 7. 9	大雨	床下浸水 12
〃 6. 9. 17	大雨	床上浸水 10 床下浸水 106
〃 6. 9. 29	大雨・竜巻	軽傷 19 家屋全壊 6 家屋半壊 84 一部損壊 223
〃 11. 9. 24	竜巻	重傷 15 軽傷 400 家屋全壊 52 家屋半壊 333 家屋一部損壊 2,150
〃 12. 6. 25	大雨	床下浸水 12
〃 14. 1. 21	竜巻	家屋半壊 1 家屋一部損壊 31

年月日	種別 (名称)	豊橋市の被害概要
" 14. 10. 1	台風第 21 号	床上浸水 1 床下浸水 1
" 16. 9. 29	台風第 21 号・竜巻	軽傷 3 家屋全壊 2 家屋半壊 10 家屋一部損壊 150 公共建物一部損壊 3
" 16. 10. 5	大雨	崖崩れ等 3 避難勧告 3 地区
" 16. 10. 8	台風第 22 号	河川護岸崩壊 2 河川堤防崩壊 1 土砂崩れ 2 避難勧告 2 地区
" 16. 10. 20	台風第 23 号	軽傷 1 床下浸水 2 避難勧告 3 地区
" 19. 7. 14	台風第 4 号	重傷 1 道路損壊 6 道路冠水 10 避難準備情報 1 地区 (賀茂校区)
" 20. 8. 28	大雨 (平成 20 年 8 月末豪雨)	軽傷 1 半壊 1 床上浸水 126 床下浸水 214 道路冠水 193 避難勧告 2 地区 (磯辺校区、前田南一丁目、鍵田町)、避難準備 情報 1 地区 (梅田川流域) [被害は平成 20 年 10 月 9 日現在]
" 21. 10. 7~8	台風第 18 号	軽傷 2 家屋全壊 1 家屋半壊 24 家屋一部破損 711 床上浸水 15 床下浸水 12 道路冠水 8 避難勧告 2 地区 その他高潮による河川越水 2、強風による倒木 723
" 23. 9. 21	台風第 15 号	家屋一部破損 48 床上浸水 5 床下浸水 24 道路損壊 1 道路冠水 8 強風による倒木 191 避難勧告 (佐奈川沿いの各 町、賀茂霞、下条霞、牛川霞) 避難指示 (賀茂霞、下条霞、牛 川霞)
" 24. 6. 19~20	台風第 4 号	軽傷 4 家屋一部破損 2 道路冠水 4
" 24. 9. 30~10. 1	台風第 17 号	重傷 1 軽傷 1 家屋一部破損 25
" 25. 9. 15~16	台風第 18 号	家屋全壊 1 家屋半壊 1 家屋一部破損 61
" 25. 10. 15~16	台風第 26 号	軽傷 1 家屋一部破損 4
" 26. 7. 19	大雨	床上浸水 8 道路損壊 1 道路冠水 16
" 26. 8. 10	台風第 11 号	道路冠水 3 倒木 1
" 26. 10. 5~6	台風第 18 号	重症 1 軽傷 1 家屋一部損壊 12 床下浸水 1 通行止め 11 道路冠水 31 停電約 2,300
" 26. 10. 13~14	台風第 19 号	家屋一部損壊 3 通行止め 2 道路冠水 1
" 27. 8. 30	大雨	床下浸水 1 道路損壊 2 道路冠水 8
" 27. 9. 8~9	台風第 18 号	重傷 1 道路損壊 10 道路冠水 3 避難勧告 (浜道町新百々池、 駒形町退松・山崎、一色町西内張)
" 28. 9. 20	台風第 16 号	軽傷 1 倒木 1 公共建物一部破損 1 避難準備情報 (柳生川、 梅田川沿いの各町)
" 29. 8. 7	台風第 5 号	竜巻発生：軽傷 3 家屋全壊 3 家屋半壊 6 家屋一部破損 52 停電約 5,400
" 30. 9. 4	台風第 21 号	軽傷 1 公共建物一部破損 1
" 30. 9. 30	台風第 24 号	軽傷 2 道路損壊 1 建物損壊 5 避難勧告 (前芝地区、牟呂地 区、吉田方地区、磯辺地区、大崎地区、老津地区、杉山地区、 明海地区) 避難準備・高齢者等避難開始 (賀茂町、下条東町、 下条西町、牛川町) 停電約 104,400 戸
令 1. 1. 27	暴風・波浪警報	軽傷 4 屋根の損傷、防水シート捲れ等 (うち雨漏り 7 件)、 倒木 1、照明灯破損 1

年月日	種別（名称）	豊橋市の被害概要
令 5. 6. 2～3	大雨	死者 1 軽傷 4 床上浸水 80 床下浸水 86 車両被害 132 事務所・工場等 145 道路損壊 11 橋梁破壊 3 河川法面崩落 13 河川護岸損傷 1 水路破損・土砂堆積 156 土砂崩れ等 63

特殊災害対応指揮車の整備概要

概要（要旨）

平成15年式電源照明車は、6月2日、下条東町で発生した救助事案へ出動中、大村町地内の冠水道路を走行した際、エンジン内に雨水が流入したため走行不能となり、エンジンの載せ替えが必要となった。

当該車両は運用開始から20年を経過して老朽化が著しく、元来次年度当初予算要求により更新を予定していたことから、多額の修繕料を執行することなく更新を行い、消防力の維持・強化を速やかに図る。

更新車両等について

【出動隊員の所感】

消防隊員は、通報（助けの求め）を受け出動したならば、一刻も早く現場へ駆け付けようとする習慣が染みついている。“人命救助最優先”の使命のもと、現場への最短ルートを念頭に置き、無線交信により災害のイメージを思い描きながら、緊急走行に全身全霊を傾けるのである。

本件での緊急走行中、漆黒の冠水面に複数の水没車両を見やるとき、隊員は言い知れない恐怖感を抱くとともに、冠水により現場へ急行できないもどかしさと圧倒的な悔しさを実感した。

◆ 現場主義を第一とした更新車両の方針

今回の経験を踏まえ、不安定な道路状況下においても、極力速やかに現場に到着できる車両とするため、最低地上高の高い走破性の優れた車種とする。

【指揮車両の特性等】

車 両	特 徴	対応災害
指揮車A（一般指揮車）	車内空間が広く、資機材積載スペースに余裕	通常災害
指揮車B（特殊災害対応指揮車）	走行性能が高い	冠水、降雪時及び山林、海岸等において高い走破性が求められる災害

【指揮車A】



【指揮車Bイメージ】更新車



納入までの経緯

令和5年6月26日(月) 6月市議会定例会 一般会計補正予算 議決
令和5年8月30日(水) 車両積載資機材 契約
令和5年9月6日(水) 特殊災害対応指揮車 契約
令和6年5月下旬 車両及び資機材 納入(予定)

水防活動装備品の整備概要

概要(要旨)

6月2日の台風2号に伴う大雨による災害活動の検討結果から、より安全かつ効果的に活動するため、隊員の身を守る装備品を拡充整備し、本市の災害体制の充実を図る。

整備した装備品

●高機能雨衣

悪天候や夜間時の活動の安全性の確保や長時間活動時の負担軽減を図るため、高機能な仕様に変更した。

◆特性

- ・立体裁断やストレッチ素材の使用による可動域の拡張
- ・発色を蛍光として反射材による視認性の向上
- ・透湿性能の向上

◆整備数

- ・消防本部 270 着 (黄色)
中・南署管内の隔日勤務職員 (災害活動隊員)
- ・消防団 1, 120 着 (オレンジ色)
実団員数



※上記は消防本部用雨衣

●胴付長靴及び警備靴

非常参集職員分 (消防本部) や未配備分 (消防団) の不足数を整備する。

◆胴付長靴 (消防本部)

32 足 (8 署所 × 4 人)

◆警備靴 (消防団)

300 足



●無線機防水保護カバー (新規)

豪雨下での確実な情報連絡体制を確立する。

◆特性

完全防水でケースに入れたまま通話や操作が可能。

◆整備数

80 個
本市が所有する
消防デジタル
無線機数



納入までの経緯

	装 備 品	契 約 日	納 入 日
消防本部	高機能雨衣	令和5年9月25日	令和5年10月25日
	胴付長靴	令和5年8月23日	令和5年10月30日
	無線機防水保護カバー	令和5年8月29日	令和5年10月24日
消防団	高機能雨衣	令和5年10月2日 (仮契約 令和5年8月14日)	令和6年3月予定
	警 備 靴	令和5年8月30日	令和6年2月予定

※令和5年7月28日（金）7月市議会臨時会 一般会計補正予算 議決